

学生支援に関する方針

皇學館大学は、「建学の精神」と「大学の目標」を実現するため、学生支援に関する方針を定める。

学生支援に関する基本方針

1. 各学部学科・専攻科・研究科が目標とする人材養成の実現に向けて、学生指導および福利厚生を充実させる。
2. 学生が自らの学修に専念することができる環境を整備する。
3. 学生の人間的成長と自立を促すための支援をする。
4. 学生が対等な個人として尊重される快適で安全な環境を提供する。
5. 学生一人ひとりが卒業後の進路を意識し、自らの資質向上を図るための支援をする。

修学支援

1. 学修を円滑にすすめるための学修相談・指導を、教職員が相互連携して実施する。
2. 図書館の機能を充実させ、その適切な活用法の指導を通じて主体的な学修活動を支援する。
3. ICT（情報通信技術）を活用したシステムを構築し、提供することにより、授業に対する学生の事前・事後学習を促す。
4. 留年者および休・退学者については、その状況把握とデータ管理・分析を行うとともに、早期のケアを含めた具体的な対応策を講じる。

生活支援

1. 学生一人ひとりが、目的意識と自覚を持ち主体的に行動するよう、学生生活における活動を積極的に支援する。
2. 学生の健全な心身の維持増進を目的として、保健室・学生相談室・ハラスメント相談窓口等を設け、教職員および各種専門スタッフを配置し、快適で安全な学生生活を送ることができるよう支援する。
3. 学生寮・奨学金制度の充実を図り、安定した学生生活を支援する。
4. 障がいを持つ学生が豊かな学生生活を過ごすことができるよう、学修や生活を組織的に支援する。
5. 留学生については、良好な住居環境の確保などを通じて、生活支援体制を整備する。

進路支援

1. 学生一人ひとりのキャリア形成を支援するために、キャリア形成教育プログラムを正課内に設置するなど、系統的なキャリア形成教育を実施する。
2. 公務員・教員採用試験および各種資格取得の対策講座を開設し、学生のキャリア形成を支援するプログラムを提供する。
3. 学生の多様な進路に対応するため、「就職担当」「教職支援担当」「神職養成担当」の3つの部署に職員およびアドバイザーを配置し、卒業後までを見通した柔軟で的確なキャリア・サポートを行う。